

全英連全国高等学校英語スピーチコンテスト審査について(第 19 回コンテスト)

● 時間の過不足の際の減点について

1. スピーチの時間 : 4分30秒～5分30秒
2. 上記に関し、過不足が出た場合、以下の減点になります。
4分30秒に満たない場合、または5分30秒を超えた場合の減点：
0 ～ 15秒(15秒を含む)の過不足はマイナス5点
15 ～ 30秒(30秒を含む)の過不足はマイナス10点
30秒を超えた過不足はマイナス15点

(附則)

- ・ マイナス点は各審査員がつけた得点(第1部100点満点、第2部120満点)から減点されます。
- ・ 時間の過不足の減点后、審査委員ごとに出場者の順位を出します。
- ・ 各審査委員の出した順位を集計し、合計の値が少ない参加者から1位、2位・・・になります。
- ・ 数値の結果をもとに審査委員で協議し最終順位を確定します。

● 第2部スピーチ後の Questions and Answers について

1. 第2部(参加資格に制限なし)において、スピーチ後に Questions & Answers (interaction) を行います。
2. Questions & Answers (interaction)は、以下の2点の観点で評価されます。

Appropriate response

スピーチ後の質問に的確に答えているか。質問の意図を汲み、自分の考えを丁寧に答えているか。

Content

スピーチの内容に関して、補足・事例・説明等を加え、聞き手がスピーチをより良く理解する助けとなる答えであるか。

(附則)

- ・ Questions & Answers (interaction) の時間は、スピーチの制限時間には含まれません。1つの質問に対する応答は30秒程度を目安とします。
- ・ 質問内容が理解できず聞き返すことは、やりとりとしてあり得るので、減点の対象とはなりません。